日本語 Compaq COBOL for OpenVMS VAX

インストレーション・ガイド

AA-PPPLF-TE

1999

本書は，日本語 Compaq COBOL for OpenVMS VAX をインストールする方法について説明します。

改訂/更新情報:	本書は『日本語 Compaq COBOL インストレーション・ガイド』(AA-PPPLE-TE) の改訂版です。
オペレーティング・システム:	日本語VAX/VMS version 5.5-2 or 日本語 OpenVMS VAX Version 6.1 以降
ソフトウェア・バージョン:	日本語 Compaq COBOL Version 5.6 for OpenVMS VAX

コンパックコンピュータ株式会社

1999

本書の著作権はコンパックコンピュータ株式会社が保有しており，本書中の解説および図，表はコンパックの文書による許可なしに，その全体または一部を，いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また，本書に記載されている事項は，予告なく変更されることがありますので，あらかじめご承知おきください。万一，本書の記述に誤りがあった場合でも，コンパックは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は，所定のライセンス契約が締結された場合に限り，その使用あるいは複製が許可されます。

コンパックは，コンパックまたはコンパックの指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合，その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

© Compaq Computer Corporation 1999.

All rights reserved.
Printed in Singapore.

下記は，米国 Compaq Computer Corporation の商標です。

Bookreader， DECdirect， DECwindows， OpenVMS， OpenVMS Cluster， VAX，
VAX DOCUMENT， VAXcluster， VMS および Compaq ロゴ。

本書は，日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

目次

まえがき v

1 日本語 Compaq COBOL のインストールのための準備

1.1 システムの前提条件 1–2

1.2 オンライン・リリース・ノートへのアクセス 1–2
1.2.1 日本語版リリース・ノートの参照 1–3
1.2.2 英語版リリース・ノートの参照 1–3

1.3 インストレーション・プロシージャの必要条件 1–4
1.3.1 グローバル・ページ，グローバル・セクション値の計算と変更 1–4

1.4 特別の条件 1–6

1.5 VMSINSTAL の使用 1–8

2 日本語 Compaq COBOL のインストール

2.1 標準版 Compaq COBOL 部分のインストール 2–1
2.1.1 VAXcluster 環境での標準版 Compaq COBOL のインストール 2–11

2.2 日本語 Compaq COBOL 部分のインストール 2–12
2.2.1 VAXcluster 環境での日本語 Compaq COBOL のインストール 2–22

3 インストレーションの後に

3.1 インストレーション検証プロシージャの単独実行 3–1

3.2 日本語 Compaq COBOL エラー・メッセージの修正 3–3

3.3 エラー状態 3–5

3.4 共有可能イメージとしての実行時ルーチン，日本語エラー・メッセージのインストール 3–6

3.5 COBRTL のみの特殊セーブ・セット 3–7
3.6 保守更新 3–8
3.7 問題点の通知 3–9

4 インストレーション例

A 日本語 Compaq COBOL バージョン 5.6 のインストールで追加，更新されるファイル

まえがき

日本語 Compaq COBOL for OpenVMS VAX (以下，日本語 Compaq COBOL と記す) は，事務処理業務で日本語を容易に扱うことを目的とするソフトウェアです。

本書では，日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システム上に日本語 Compaq COBOL をインストールする方法について説明します。本書は，日本語 Compaq COBOL バージョン 5.6，およびその保守更新バージョンに適用されます。

ディストリビューション・キットとともに本書を保存しておいてください。保守更新バージョンをインストールしたり，なんらかの理由で日本語 Compaq COBOL を再インストールしたりする場合に，本書が必要となります。

インストレーション・プロシージャ
インストレーション・プロシージャは段階的に記述されており，その大部分は特に説明がなくてもわかるようになっています。システムによって，質問が表示され，ボリュームを換えるようにとの指示がありますので，指示に従ってください。ユーザが継続を指示すると次に進みます。

本書の対象

本書はシステム管理者を対象としています。日本語 Compaq COBOL バージョン 5.6 をインストールする前に，必ずお読みください。

関連資料

『日本語 Compaq COBOL for OpenVMS VAX リリース・ノート』
『*VMS Authorize Utility Manual*』
『*VMS License Management Utility Manual*』
『*VMS System Messages and Recovery Procedures Reference Volume*』

日本語 OpenVMS VAX システム上での日本語 Compaq COBOL のインストールについての詳細は，ご使用のプロセッサ固有のインストレーション / 操作ガイドを参照してください。

本書の構成

本書は，4 つの章および 1 つの付録から構成されています。

第 1 章	日本語 Compaq COBOL のインストールのための準備
第 2 章	日本語 Compaq COBOL のインストール
第 3 章	インストレーションの後に
第 4 章	インストレーション例
付録 A	日本語 Compaq COBOL バージョン 5.6 のインストールで追加，更新されるファイル

本書で使用する表記法

本書で使用されている特殊記号は次のとおりです。

表記法	意味
[...]	大括弧の中には，省略時の設定値が示されています。

1

日本語 Compaq COBOL のインストールのための準備

日本語 Compaq COBOL バージョン 5.6 のインストレーションは，2 回に分けて行います。はじめに標準版 Compaq COBOL 部分をインストールし，続いて日本語 Compaq COBOL 部分をインストールします。このとき，必ず標準版 Compaq COBOL 部分を先にインストールし，次に日本語 Compaq COBOL 部分をインストールしなければなりません。

これら 2 つのインストレーションが正常に終了してはじめて，日本語 Compaq COBOL がそのシステムで使用できる状態になります。

必要な媒体の数および内容については，BOM (bill of materials) に示されています。ここに記載された情報と照合して，必ずキットの内容を確認してください。万一，キットが破損していたり，必要な媒体がすべてそろっていない場合には，最寄りの日本 Compaq の各支店 / 営業所にお問い合わせください。

インストレーション・プロシージャを起動すると，ボリュームをマウントするようにという要求があります。配布媒体のマウントは番号順に行わなければなりません。マウント方法についての詳しい説明は，ご使用のプロセッサのインストレーション / 操作ガイドを参照してください。

本書では，インストレーション・プロシージャで提供されるいくつかのオプションについても詳しく説明しています。

1.1 システムの前提条件

本製品は，日本語 Compaq COBOL のための完全なキットです。バージョン 5.6 をインストールする前に，日本語 Compaq COBOL の以前のバージョンをインストールする必要はありません。

日本語 Compaq COBOL を使用するには，日本語 OpenVMS VAX バージョン 5.5-2 以降が必要になります。また，日本語 Compaq COBOL で使用できるある特定の機能では日本語 OpenVMS VAX の最新バージョンを必要とする場合もあります。なお，これは参考ですが OpenVMS V5.x ~ V7.x のシステムでレイヤード・プロダクトの全機能を得るには，次の OpenVMS 構成要素が必要となります。

- OpenVMS Required Saveset
- Programming Support

詳細については，『日本語 Compaq COBOL Version 5.6 for OpenVMS VAX ソフトウェア仕様書』を参照してください。

日本語 Rdb for OpenVMS VAX および (または) 日本語 CDD/Repository for OpenVMS VAX (以下， CDD/Repository と記す) をインストールしている場合には，日本語 Compaq COBOL をインストールする前に，それらが正常にインストールされたことを確認してください。考えられるインストレーション・エラーを取り除くために，次のコマンド・プロシージャを実行して， CDD/Repository を起動します。

```
$@SYS$STARTUP:CDDSTRTUP.COM Return
```

1.2 オンライン・リリース・ノートへのアクセス

日本語 Compaq COBOL では，オンライン・リリース・ノート (英語版と日本語版) が提供されます。 VMSINSTAL を起動する際に OPTIONS N パラメータを指定すると，インストレーションのオプション 4 の段階で，インストレーションの前にリリース・ノートを表示またはプリントするかどうかを選択できます。

1.2.1 日本語版リリース・ノートの参照

日本語版のリリース・ノートを参照するときは，標準版 Compaq COBOL 部分のインストール時ではなく，日本語 Compaq COBOL 部分をインストールするために VMSINSTAL を起動する際に OPTIONS N を指定してください。

インストレーションの後でリリース・ノートを見るときは，ファイル SYS$HELP:JCOBOL056.RELEASE_NOTES をタイプまたはプリントしてください。また，リリース・ノートは .PS 形式で利用できます。これを利用するときは，以下のファイルをプリントしてください。

SYS$HELP:JCOBOL056_RELEASE_NOTES.PS

オンライン・ヘルプでリリース・ノート・ファイルの場所を調べることもできます。インストレーションの後で，次のように入力してください。

```
$HELP COBOL RELEASE_NOTES Return
```

1.2.2 英語版リリース・ノートの参照

英語版のリリース・ノートを参照するときは，標準版 Compaq COBOL 部分をインストールするために VMSINSTAL を起動する際に OPTIONS N を指定してください。

インストレーションの後でリリース・ノートを見るときは，ファイル SYS$HELP:COBOL056.RELEASE_NOTES をタイプまたはプリントしてください。また，リリース・ノートは .PS 形式で利用できます。これを利用するときは，以下のファイルをプリントしてください。

SYS$HELP:COBOL056_RELEASE_NOTES.PS

1.3 インストレーション・プロシージャの必要条件

インストレーションには，媒体のタイプおよびシステムの構成に応じて，およそ 10 分から 60 分かかります。日本語 Compaq COBOL をインストールするためには，以下に示す特権と資源が必要です。

- SETPRV 特権，または CMKRNL， WORLD および SYSPRV 特権
- インストール時には最小 12,000 ブロック，インストール後には 3,500 ブロックのディスク領域が必要となる。
- インストール時，インストール後ともに，最小 950 のグローバル・ページが必要となる。
- インストール時，インストール後ともに，最小 3 のグローバル・セクションが必要となる。

注意

システムに，インストレーションに必要なグローバル・ページおよびグローバル・セクション SYSGEN クォータがあることを確認してください。グローバル・ページやグローバル・セクションが足りない場合， DCL テーブルが損なわれることがあります。

1.3.1 グローバル・ページ，グローバル・セクション値の計算と変更

【グローバル・ページ】

システム上の利用可能なグローバル・ページ数を調べるには，次のコマンドを入力します。

```
$WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI ("FREE_GBLPAGES")
```

日本語 Compaq COBOL では，およそ 950 のグローバル・ページが必要です。使用できるグローバル・ページの数が 950 より少ないときには， VMS インストール・ユーティリティを使用して既存のイメージを削除することができます。

また，OpenVMS の SYSGEN (System Generation) ユーティリティを使用してシステム・パラメータ GBLPAGES を増やすこともできます。その場合には，ファイル SYS$SYSTEM: MODPARAMS.DAT を編集し，次に AUTOGEN コマンド・プロシージャ SYS$UPDATE:AUTOGEN.COM を起動します。

AUTOGEN コマンド・プロシージャについての詳細は，ご使用のプロセッサ固有のインストレーション / 操作ガイドを参照してください。

【グローバル・セクション】

使用可能なグローバル・セクションの数は，次のコマンドを入力して調べることができます。

```
$WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI ("FREE_GBLSECTS")
```

日本語 Compaq COBOL は，グローバル・セクションの数を 3 必要とします。したがって，使用可能なグローバル・セクションの数が 3 より少ない場合には，日本語 Compaq COBOL をインストールする前に，使用可能なグローバル・セクションの数を増やしておく必要があります。

グローバル・セクションの数を増やすには， SYSGEN を使用してシステム・パラメータ GBLSECTIONS を増やさなければなりません。 GBLSECTIONS を増やすには，ファイル SYS$SYSTEM:MODPARAMS.DAT を編集してから，SYS$UPDATE:AUTOGEN.COM プロシージャを起動します。

AUTOGEN.COM プロシージャについての詳細は，ご使用のプロセッサ固有のインストレーション / 操作ガイドを参照してください。

注意

日本語 Compaq COBOL バージョン 5.6 を使用するために必要となるソフトウェア，ハードウェアの情報については『日本語 Compaq COBOL Version 5.6 for OpenVMS VAX ソフトウェア仕様書』を参照してください。

1.4 特別の条件

日本語 Compaq COBOL を使用するため，ライセンス管理機能 (LMF) に，プロダクト・オーソライゼーション・キー (PAK) のライセンスを登録する必要があります。はじめて日本語 Compaq COBOL をインストールする場合には，インストレーション・プロシージャを起動する前に必ず，日本語 Compaq COBOL の PAK が登録されていることを確認してください。一度インストールをしたことがあり，更新のためにインストールをする場合は，ライセンス・データベースにすでに PAK が登録されているので，改めて登録する必要はありません。

日本語 Compaq COBOL の PAK は，標準版 Compaq COBOL の PAK を含んでいます。このため，標準版 Compaq COBOL の PAK の登録を行わなくても日本語 Compaq COBOL の PAK を登録すれば，標準版 Compaq COBOL のインストールを行うことができます。

ライセンスの登録に必要な情報はこの PAK に含まれています。 PAK は，特定のソフトウェアを使用するためのライセンス情報が書かれた用紙です。

【ソフトウェア・ライセンスの登録】
日本語 Compaq COBOL のソフトウェア・ライセンスを登録するには，OpenVMS ライセンス管理機能 (LMF) を使用しなければなりません。 OpenVMS ライセンス管理機能は，日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システムのバージョン 5.0 から提供されています。

インストレーション中に，日本語 Compaq COBOL のライセンスを登録し適切なキーをロードしたかどうかの問い合わせがあります。ライセンスを登録していなくてもインストレーションを終了することはできます。しかし，ソフトウェアおよびインストレーション検証プロシージャ (IVP) を実行することはできません。一度ライセンスを登録し，オーソライゼーション・キーをロードしておけば， IVP を実行し，日本語 Compaq COBOL を使用することができます。

バージョン 5.0 以降の日本語 OpenVMS VAX でライセンスを登録するには，まず最初にシステム・マネージャのアカウントである SYSTEM でログインします。それから，次の方法のうちどちらかを使用してライセンスを登録します。

- SYS$UPDATE:VMSLICENSE.COM プロシージャを実行して，プロンプトに対して PAK のデータを入力する。
- DCL コマンド LICENSE REGISTER を使用して， PAK の情報に応じた適切な修飾子を指定する。

VMScluster に日本語 Compaq COBOL をインストールする場合， VMScluster のメンバーの各ノードにライセンスを登録する必要があります。

LMF についての詳細は，『*VMS License Management Utility Manual*』を参照してください。

注意

万一， PAK を紛失しても，ソフトウェア・サポート契約を結んでいる場合には，ディジタル・ソフトウェア情報ネットワーク (DSIN) からテンポラリー・サービス PAK を得ることができます。 DSIN についての詳細は，カスタマ・サポート・センターにお問い合わせください。

【ハードウェア条件】

コンパイラをインストールする際に，日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システムが次の条件を満たしていなければ，標準版 Compaq COBOL コンパイラによって作成されるオブジェクト・モジュールが正しく実行できない可能性があります。

- VAX–11/780 コンピュータでは，ハードウェア・エンジニアリング・チェンジ・オーダ (ECO) がシステム・レベル 4 以上の状態を必要とする。
- VAX–11/730 では，書き込み可能制御記憶 (WCS) がシステム・レベル 50 以上の状態を必要とする。

注意

標準版 Compaq COBOL インストレーション検証プロシージャ (IVP) は，これらの ECO の有無をチェックします。

日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システム上で， データベース管理システム (DBMS)， CDD/Repository あるいはその両方と一緒に標準版 Compaq COBOL を使用する場合には，それらのプロダクトの ECO 条件について，各インストレーション・ガイドを参照してください。

1.5 VMSINSTAL の使用

日本語 Compaq COBOL をインストールするには，必要な特権のあるアカウントにログインし，省略時設定を SYS$UPDATE: に設定します。その後，VMSINSTAL を起動します。 VMSINSTAL は，日本語 Compaq COBOL をインストールするためのコマンド・プロシージャです。 VMSINSTAL を起動するコマンドの形式は，標準版 Compaq COBOL 部分をインストールする場合も日本語 Compaq COBOL 部分をインストールする場合も同じです。コマンドの形式は次のとおりです。

```
$SET DEFAULT SYS$UPDATE Return
$@VMSINSTAL 製品名 ddn: OPTIONS N Return
```

以下の段落では，コマンド・パラメータについて説明します。

製品名
製品のインストレーション名を入力します。

標準版 Compaq COBOL 部分のインストールには，COBOL056を入力します。
日本語 Compaq COBOL 部分のインストールには，NCOBOL056を入力します。

数字の 056 は日本語 Compaq COBOL の保守更新番号を表します。ご使用のキットの保守更新番号については，日本語 Compaq COBOL ディストリビューション・キットのラベル，または日本語 Compaq COBOL の BOM もしくは， BIL の数字を参照してください。

ddn:
インストレーション・キットが格納された提供ボリュームをマウントする装置名を表します。ここで，ddは装置コード，nはユニット番号です。日本語 Compaq COBOL のインストレーションには，コンソール・ドライブを使用する必要はあり

ません。コンソール・ドライブを使用する場合には，ドライブから取り除いたすべての媒体を置き換える必要があります。

OPTIONS N
ユーザが任意に指定するパラメータを表します。このパラメータを指定すると，インストレーション中に，リリース・ノートの表示またはプリントに関する選択肢が表示されます。 OPTIONS N を指定しなかった場合には，こうした表示はありません。 VMSINSTAL では，この他にもいくつかのオプションを使用できます。その他のオプションについての詳細は，ご使用のプロセッサ固有のインストレーション / 操作ガイドを参照してください。

製品名あるいは装置名の指定を省略すると，インストレーション中に，これらの名前を入力するよう求められます。インストレーション中に，製品名や装置名の入力要求やリリース・ノートの表示またはプリントに関する選択肢が表示されるようにしたい場合には，次のように入力してください。

```
$@SYS$UPDATE:VMSINSTAL "" "" OPTIONS N Return
```

VMSINSTAL を起動すると，次のチェックが行われます。

- 必要な特権のあるアカウントにログインしているかどうか。

  省略時の装置およびディレクトリを SYS$UPDATE に設定して，システム・マネージャのアカウントからインストレーションを行うことをおすすめします。
- インストレーションに必要なクォータがあるかどうか。

VMSINSTAL は次に，以下の状況が存在するかどうかがチェックします。

- DECnet が起動され，動作している。
- システムに他のユーザがログインしている。

上記のいずれかの状況が検出された場合には，インストレーション中に，インストレーションを継続するかどうかが尋ねられます。このままインストレーションを継続する場合には， YES と入力してください。インストレーションを中止する場合には， Return キーを押してください。

2

日本語 Compaq COBOL のインストール

この章では，インストレーションの方法を標準版 Compaq COBOL 部分と日本語 Compaq COBOL 部分に分けてステップごとに説明します。

日本語 Compaq COBOL バージョン 5.6 のインストレーションは，2 回に分けて行います。はじめに標準版 Compaq COBOL 部分をインストールし，続いて日本語 Compaq COBOL 部分をインストールします。このとき，必ず標準版 Compaq COBOL 部分を先にインストールし，次に日本語 Compaq COBOL 部分をインストールしなければなりません。

2.1 標準版 Compaq COBOL 部分のインストール

この項では，標準版 Compaq COBOL 部分のインストレーションをステップごとに説明します。

インストレーションは，CTRL/Y を押すことによって，いつでも強制的に終了することができます。CTRL/Y を押すと，その時点までに作成されたファイルがすべて削除され，DCL レベルに戻ります。CTRL/Y を押したあとで，もう一度インストレーションを行いたいときは，ステップ 2 からやり直してください。

注意

省略時の設定値は，インストレーションを通して大括弧 ([ ]) の中に示されています。

ステップ 1

◆特権のあるアカウントにログインし，省略時の装置とディレクトリを SYS$UPDATE に設定します。

```
Username: SYSTEM   Return
Password:          Return
$SET DEFAULT SYS$UPDATE  Return
```

ステップ 2

◆ VMSINSTAL を起動します。

```
$@VMSINSTAL COBOL056 ddn: OPTIONS N  Return

      VAX/VMS Software Product Installation Procedure V7.1

It is dd-mmm-yyyy at hh:mm.

Enter a question mark (?) at any time for help.

* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]? Return
```

システム・ディスクのバックアップをとっているか，という質問があります。バックアップをとっている場合には，Return キーを押してください。まだとっていない場合には，NO と入力してから Return キーを押してインストレーションを中止します。システム・ディスクのバックアップをとった後は，ステップ 2 からやり直してください。インストレーション中に問題が発生した時のために，システム・ディスクのバックアップをとっておくことをお勧めします。

VMSINSTAL を起動する際に，製品名とインストレーション・キットのための装置名を指定しなかった場合には，ここで装置名に関する問い合わせがあります。

```
* Where will the distribution volumes be mounted: ddn:
```

インストレーション・キットをマウントする装置名を入力してください。

続いて，製品名の問い合わせがあります。

```
Enter the products to be processed from the first distribution volume set.
* Products: COBOL056
```

プロンプトに対して COBOL056 と入力します。

ステップ 3

◆インストレーション・キットの最初のボリュームを挿入します。

使用する媒体によっては，次のようなプロンプトが表示されます。

```
Please mount the first volume of the set on ddn:.
* Are you ready? YES Return
```

インストレーションを継続するときには，ボリューム 1 をマウントし， YES と入力してから Return キーを押します。

```
The following products will be processed:

  COBOL V5.6

    Beginning installation of COBOL V5.6 at hh:mm

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A...

    Release notes included with this kit are always copied to SYS$HELP.
```

ステップ 4

◆リリース・ノート・オプションを選択します。

このステップは，ステップ 2 で OPTIONS N を指定した場合だけ実行します。

```
Additional Release Notes Options:

     1.  Display release notes
     2.  Print release notes
     3.  Both 1 and 2
     4.  None of the above

* Select option [2]: Return
```

オプション 1を選択すると，端末にリリース・ノートが表示されます。表示を中止するときは， CTRL/C を押します。

オプション 2を選択すると，プリント・キュー名が要求されます。キュー名を入力するか，または Return キーを押します。 Return キーを押すと，リリース・ノート・ファイルは省略時のプリント装置に送られます。

```
* Queue name [SYS$PRINT]: Return
```

オプション 3を選択すると，オンラインでリリース・ノートが表示され，続いてキュー名が要求されます。

注意

VMSINSTAL によってインストールされるリリース・ノート・ファイルの本バージョンには，現在の製品名およびバージョン番号のラベルが付いています。標準版 Compaq COBOL の前バージョンのリリース・ノートを削除しないよう注意してください。

続いて，次のプロンプトが表示されます。

```
* Do you want to continue the installation [NO]? YES Return
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, The product's release notes have been  moved to
 SYS$HELP.
```

このままインストレーションを継続するときは， YES と入力してから Return キーを押します。 NO と入力するか，または Return キーを押した場合には，インストレーションは中止されます。いずれの場合にも，リリース・ノートは SYS$HELP にコピーされます。

ステップ 5

◆ COBOL 実行時ライブラリのみをインストールします。

標準版 Compaq COBOL では，製品すべてのインストレーションとは別に，COBOL 実行時ライブラリ (COBRTL) イメージ (COBRTL.EXE) のみをインストールすることができます。このオプションは， COBRTL が上書きされたり，失われたりした場合，あるいは標準版 Compaq COBOL バージョン 5.6 のインストールされていないシステム上で，標準版 Compaq COBOL バージョン 5.6 でコンパイルした COBOL アプリケーションを実行する場合に役立ちます。標準版 Compaq

COBOL のすべてのイメージのインストレーションを継続するためには，Return キーを押してください。また，COBRTL イメージのみをインストールする場合には，次のように，プロンプトに対して YES と入力してから Return キーを押してください。

```
* Do you want to install only the COBRTL [NO]?YES Return
```

この場合，インストレーションは PAK に関する質問をはじめとする後続の問い合わせをすべて省略し，COBRTL イメージのみをインストールしようとします。

完全なインストレーションの場合と同様に，現在の COBRTL.EXE のバージョンが自動的にチェックされます。

システム上にすでにインストールされている COBRTL.EXE のバージョンが，インストールしようとしているバージョンよりも新しい場合には，次のメッセージが出力され，もう一度プロンプトが表示されます。

```
%COBRTL-I-IDNTCK, COBRTL found in SYS$SHARE has later ident than
COBRTL to be installed.
* Do you still want to install COBRTL from kit [NO]? Return
```

標準版 Compaq COBOL キットで提供される COBRTL イメージをインストールせずに，インストレーションを終了する場合には，Return キーを押してください。インストールする場合には，YES と入力してから Return キーを押します。

```
* Do you still want to install COBRTL from kit [NO]?YES Return
  %COBRTL-I-UPDIMG, Installing new COBRTL image
  %PATCH-I-WRTFIL, updating image file ...
   DKB300:[SYS0.SYSUPD.COBOL056]COBRTL.EXE;2
  %COBRTL-I-UPDOBJ, Updating system object library
  %VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target
   directories...
```

注意

システム上に，標準版 Compaq COBOL のキットで提供されるものよりも新しいバージョンの COBRTL.EXE がある場合には，それ以前のバージョンのキットをインストールしないでください。ご使用のアプリケーションに対する逆方向の互換性は保証されていません。これは，COBOL の古いバージョンでコンパイルされたアプリケーションを，新しいバージョンの

COBRTL と互換性を保って実行することはできますが，その逆はできない場合があるためです。

COBRTL.EXE を既知イメージに置き換えるためには，INSTALL コマンドを使用してください。また，この置き換えはVAX Cluster の各ノードで行われなければなりません。複数ノードでインストレーションを行う際には，INSTALL コマンドまたは OpenVMS システム管理ユーティリティ (SYSMAN) を適時ご使用ください。詳しくは，第 2.1.1 項を参照してください。

ステップ 6

◆ LMF の問い合わせに答えます。

標準版 Compaq COBOL は，VMS のライセンス管理機能 (LMF) をサポートしています。 LMF についての詳細は，『*VMS License Management Utility Manual*』を参照してください。

インストレーション中に，標準版 Compaq COBOL のプロダクト・オーソライゼーション・キー (PAK) が呼び出され，次の情報と質問が表示されます。

```
Product:      COBOL
Producer:     DEC
Version:      5.6
Release Date: dd-mmm-yyyy

* Does this product have an authorization key registered and loaded?[YES] Return
```

ここで，標準版 Compaq COBOL の LMF ライセンスが登録され，ロードされているかどうかを指定します。インストレーションを開始する前に，日本語 Compaq COBOL の PAK(標準版 Compaq COBOL の PAK を含む) をインストールしておいてください。

まだ PAK をインストールしていない場合はそのままインストレーションを継続し，インストールが完了した後で PAK をインストールすることができます。

次のリストは，この問い合わせに対する応答の結果をまとめたものです。

- PAK がインストールされている場合に YES と答えると，インストレーションは正常に進行する。
- PAK がインストールされておらず，IVP オプションを選択した場合に YES と答えると，IVP は失敗する。
- PAK がインストールされておらず，REFORMAT ユーティリティ・オプションを選択した場合に YES と答えると，インストレーションは失敗する。
- NO と答えると，インストレーションは終了する。

どのような場合でも日本語 Compaq COBOL の PAK，または標準版 Compaq COBOL の PAK がインストールされていなければ，標準版 Compaq COBOL は実行できません。

ステップ 7

◆ REFORMAT ユーティリティをインストールします。

```
* Do you want the REFORMAT Utility installed [YES]? Return
```

標準版 Compaq COBOL の使用に応じて，REFORMAT ユーティリティを任意にインストールすることもできます。

ステップ 8

◆メッセージ・ファイルに関する問い合わせに答えます。

```
* Do you want to save the COBOL message file for modification[NO]? Return
```

この問い合わせに YES と答えることによって，標準版 Compaq COBOL のメッセージ・ファイル (COBOLMSG. MSG) を編集し，カスタマイズすることができます。メッセージ・ファイルの編集を行う場合には，YES と入力してから Return キーを押します。編集が不要な場合には，Return キーを押してください。詳細については，第 3.2 節を参照してください。

ステップ 9

◆ファイルのパージに関する問い合わせに答えます。

インストレーションが成功した場合，SYS$EXAMPLES，SYS$HELP，SYS$LIBRARY，SYS$MANAGER，SYS$UPDATE，SYS$MESSAGE および SYS$SYSTEM ディレクトリに，以下の標準版 Compaq COBOL ファイルが更新されます。

```
[SYSEXE]COBOL.EXE
[SYSEXE]REFORMAT.EXE
[SYSLIB]DCLTABLES.EXE
[SYSTEST.COBOL]COBOL$IVP.COM
[SYSHLP]COBOL056.RELEASE_NOTES
[SYSHLP]COBOL056_RELEASE_NOTES.PS
[SYSMSG]COBOLMSG.EXE
[SYSUPD]COBOLMSG.MSG
[SYSLIB]LSE$SYSTEM_ENVIRONMENT.ENV
```

```
* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]? Return
```

これらのファイルは，インストレーション中に新しいファイルと置き換えられます。しかし，古いファイルが自動的にパージされることはありません。古いファイルをパージすることをおすすめします (古いファイルをパージしても，保存する必要のあるリリース・ノートの初期バージョンが破壊されることはありません)。パージするときは，プロンプトに応じて Return キーを押します。古いファイルを保存するときは，NO と入力します。いずれの場合にも，システム・ヘルプ・ファイルが更新されます。

これらのファイルをパージせずに保存しておくことにより，必要な応じて以前のバージョンのファイルに戻ることができます。

また，インストレーション中に，以下のファイルの新しいバージョンが作成される場合があります。上記のファイルがパージされても，これらのファイルはパージされません。

```
[SYSLIB]COBRTL.EXE
```

インストレーション・プロシージャは，次のファイルを更新します (この更新によって新しいバージョンが作成されたり，既存のファイルがパージされたりすることはありません)。

[SYSLIB]IMAGELIB.OLB
[SYSLIB]STARLET.OLB

ファイルのパージに関する問い合わせは，インストレーション中に行われる最後の問い合わせです。この問い合わせに答えると，次のメッセージが表示されます。

```
No more questions will be asked during this installation.
```

使用する媒体のタイプによっては，追加の提供ボリュームをマウントする必要があります。その場合， VMSINSTAL によって，準備ができたかどうかを尋ねるプロンプトが表示されます (ステップ 12 を参照してください)。

ステップ 10

◆インストレーション・キットの残りのボリュームを挿入します。

```
%BACKUP-I-READYREAD, mount volume 2 on _ddn: for reading

Enter "YES" when ready: YES Return
```

次のボリュームを挿入するよう要求があります。ボリュームを挿入し，プロンプトに対して YES と入力してください。 NO と入力すると，もう一度プロンプトが表示されます。このプロンプトは，インストレーション・キットが複数のボリュームからなる場合にだけ表示されます。正確にこれらのプロンプトがいつ表示されるかは，使用している媒体のタイプによって異なります。

ステップ 11

◆情報メッセージが表示されます。

続いて，インストレーションの進行状態を示す情報メッセージが表示されます。

インストレーションが成功すると，次のメッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, files will now be moved to their target
directories...
```

インストレーションが正常に終了すると，新しいファイルまたは修正されたファイルが目的のディレクトリに移されます。

SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE ファイルが更新されます。更新されたファイルは，標準版 Compaq COBOL ヘルプ・テキストと標準版 Compaq COBOL コマンド行定義の新しいバージョンを含みます。

ステップ 12

◆インストレーション検証プロシージャが起動されます。

ステップ 9 で IVP を実行するよう指定した場合には，ここで IVP が起動され，標準版 Compaq COBOL が正常にインストールされたかどうかが確認されます。

```
Start of VAX COBOL Installation Verification Procedure

 Successful test of VAX COBOL V5.6
 Installation of COBOL V5.6 completed at hh:mm
```

ステップ 13

◆インストレーション検証プロシージャが終了します。

```
   VMSINSTAL procedure done at hh:mm

$LOGOUT [Return]
SYSTEM     logged out at dd-mmm-yyyy hh:mm:ss.ss
```

以上で，標準版 Compaq COBOL のインストレーションが終了しました。他にインストールする製品がある場合は，これまでの手順を繰り返し行ってください。そうでない場合は，(上記の例に示すように) ログアウトします。インストレーションを開始する前にコンソール・ドライブからなんらかのメディアを除去した場合には，ここでそれを元に戻します。

VMSINSTAL は，インストレーション中にプロセス・シンボル・テーブルのエントリを削除または変更します。したがって，この後も続けてシステム・マネージャのアカウントを使用し，削除または変更されたシンボルを復元する場合には，一度ログアウトしてからログインし直してください。

2.1.1 VAXcluster 環境での標準版 Compaq COBOL のインストール

OpenVMS システム管理ユーティリティ (SYSMAN) を使用して，クラスタの複数のノード上で容易に標準版 Compaq COBOL を実行することができます。VAXcluster の 1 つのノードで実行した操作が他のノードでも自動的に行われるように， SYSMAN を使用してシステム管理環境を定義することができます (詳細については，日本語 OpenVMS VAX ドキュメントの『*VMS* システム管理者マニュアル』を参照してください)。

最初に，適切なソフトウェア・ライセンスがあるかどうかをチェックしてください。いったん VAXcluster の 1 つのシステム・ディスク上に標準版 Compaq COBOL をインストールすれば，以下のステップを実行することによって，クラスタの他のノードにインストールされた DCL テーブルおよび COBRTL のバージョンを更新することができます。

1. VAXcluster の 1 つのノードにログインします。
2. はじめて標準版 Compaq COBOL を使用する場合には，標準版 Compaq COBOL をインストールする前に， PAK が登録されていることを確認してください。クラスタ環境のすべてのノードに同時に PAK をロードするには， SYSMAN を起動し， SYSMAN>プロンプトに対して次のコマンドを入力します。

   ```
   SYSMAN>LICENSE LOAD COBOL Return
   ```

3. SYSMAN>プロンプトに対して，次のコマンドを入力します。

   ```
   SYSMAN>DO INSTALL REPLACE SYS$SHARE:DCLTABLES.EXE Return
   SYSMAN>DO INSTALL REPLACE SYS$SHARE:COBRTL.EXE Return
   ```

2.2 日本語 Compaq COBOL 部分のインストール

この項では，日本語 Compaq COBOL 部分のインストレーションをステップごとに説明します。

日本語 Compaq COBOL 部分をインストールするためには，もう一度 VMSINSTAL を起動します。

インストレーションは， CTRL/Y を押すことによって，いつでも強制的に終了することができます。 CTRL/Y を押すと，その時点までに作成されたファイルがすべて削除され， DCL レベルに戻ります。 CTRL/Y を押したあとで，もう一度インストレーションを行いたいときは，ステップ 2 からやり直してください。

注意

省略時の設定値は，インストレーションを通して大括弧 ([ ]) の中に示されています。

ステップ 1

◆特権のあるアカウントにログインし，省略時の装置とディレクトリを SYS$UPDATE に設定します。

```
Username: SYSTEM   Return
Password:          Return
$SET DEFAULT SYS$UPDATE  Return
```

ステップ 2

◆ VMSINSTAL を起動します。

```
$@VMSINSTAL NCOBOL056 ddn: OPTIONS N  Return

      OpenVMS Software Product Installation Procedure V7.1

It is dd-mmm-yyyy at hh:mm.

Enter a question mark (?) at any time for help.
```

```
* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]? Return
```

システム・ディスクのバックアップをとっているか，という質問があります。バックアップをとっている場合には，Return キーを押してください。まだとっていない場合には，NO と入力してから Return キーを押してインストレーションを中止します。システム・ディスクのバックアップをとった後は，ステップ 2 からやり直してください。インストレーション中に問題が発生した時のために，システム・ディスクのバックアップをとっておくことをお勧めします。

VMSINSTAL を起動する際に，製品名とインストレーション・キットのための装置名を指定しなかった場合には，ここで装置名に関する問い合わせがあります。

```
* Where will the distribution volumes be mounted: ddn:
```

インストレーション・キットをマウントする装置名を入力してください。

続いて，製品名の問い合わせがあります。

```
Enter the products to be processed from the first distribution volume set.
* Products: NCOBOL056
```

プロンプトに対して，NCOBOL056 と入力します。

ステップ 3

◆インストレーション・キットの最初のボリュームを挿入します。

使用する媒体によっては，次のようなプロンプトが表示されます。

```
Please mount the first volume of the set on ddn:.
* Are you ready? YES Return
```

インストレーションを継続するときには，ボリューム 1 をマウントし，YES と入力して Return キーを押します。

```
The following products will be processed:

  NCOBOL V5.6

    Beginning installation of NCOBOL V5.6 at hh:mm

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A...

    Release notes included with this kit are always copied to SYS$HELP.
```

ステップ 4

◆リリース・ノート・オプションを選択します。

このステップは，ステップ 2 で OPTIONS N を指定した場合だけ実行します。

```
Additional Release Notes Options:

     1.  Display release notes
     2.  Print release notes
     3.  Both 1 and 2
     4.  None of the above

* Select option [2]: Return
```

オプション 1を選択すると，端末にリリース・ノートが直ちに表示されます。表示を中止するときは， CTRL/C を押します。

オプション 2を選択すると，プリント・キュー名が要求されます。キュー名を入力するか，または， Return キーを押します。 Return キーを押すと，リリース・ノート・ファイルは，省略時のプリント装置に送られます。

```
* Queue name [SYS$PRINT]: Return
```

オプション 3を選択すると，オンラインでリリース・ノートが表示され，続いてキュー名が要求されます。

注意

VMSINSTAL によってインストールされるリリース・ノート・ファイルの本バージョンには，現在の製品名およびバージョン番号のラベルが付いて

います。日本語 Compaq COBOL の前バージョンのリリース・ノートを削除しないよう注意してください。

続いて，次のプロンプトが表示されます。

```
* Do you want to continue the installation [NO]? YES Return
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, The product's release notes have been  moved to
SYS$HELP.
```

このままインストレーションを継続するときは， YES と入力して Return キーを押します。 NO と入力するか，または Return キーを押した場合には，インストレーションは中止されます。いずれの場合にも，リリース・ノートは SYS$HELP にコピーされます。

ステップ 5

◆日本語 COBOL 実行時ライブラリのみをインストールします。

日本語 Compaq COBOL では，製品すべてのインストレーションとは別に，日本語 COBOL 実行時ライブラリ (NCORTL) イメージ (NCORTL.EXE) のみをインストールすることができます。このオプションは， NCORTL が上書きされたり，失われたりした場合，または，日本語 Compaq COBOL バージョン 5.6 のインストールされていないシステム上で，日本語 Compaq COBOL バージョン 5.6 でコンパイルした COBOL アプリケーションを実行する必要がある場合に役立ちます。日本語 Compaq COBOL のすべてのイメージのインストレーションを継続するためには，Return キーを押してください。また， NCORTL イメージのみをインストールする場合には，次のように，プロンプトに対して YES と入力してから Return キーを押してください。

```
  * Do you want to install only the NCORTL [NO]?YES Return
```

この場合，インストレーションは PAK に関する質問をはじめとする後続の問い合わせをすべて省略し， NCORTL イメージのみをインストールしようとします。

現在の COBRTL.EXE (標準版 COBOL 実行時ライブラリ・イメージ) と NCORTL.EXE のバージョンが自動的にチェックされます。システム上に COBRTL.EXE がインストールされていない場合は，次のメッセージが出力されインストールが終了します。

```
NCORTL not updated for Compaq COBOL/Japanese
File SYS$LIBRARY:COBRTL.EXE not found
```

システム上にすでにインストールされている COBRTL.EXE のバージョンが，標準版 Compaq COBOL バージョン 5.6 のキットに含まれている COBRTL.EXE のバージョンより古い場合は次のメッセージが出力されインストールが終了します。

```
NCORTL not updated for Compaq COBOL/Japanese
The NCORTL update requires COBRTL V5.1-003 or greater
```

システム上にすでにインストールされている NCORTL.EXE のバージョンが，インストールしようとしているバージョンよりも新しい場合には，次のメッセージが出力され，もう一度プロンプトが表示されます。

```
%NCORTL-I-IDNTCK, NCORTL found in SYS$SHARE has later ident than
NCORTL to be installed.
* Do you still want to install NCORTL from kit [NO]? Return
```

日本語 Compaq COBOL キットで提供される NCORTL イメージをインストールせずに，インストレーションを終了する場合には， Return キーを押してください。インストールする場合には， YES と入力し， Return キーを押します。

```
* Do you still want to install NCORTL from kit [NO]?YES Return
  %NCORTL-I-UPDIMG, Installing new NCORTL image
  %PATCH-I-WRTFIL, updating image file ...
   DKB300:[SYS0.SYSUPD.NCOBOL056]NCORTL.EXE;2
  %NCORTL-I-UPDOBJ, Updating system object library
  %VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target
   directories...
```

注意

システム上に，日本語 Compaq COBOL のキットで提供されるものよりも新しいバージョンの NCORTL.EXE がある場合には，それ以前のバージョンのキットをインストールしないでください。ご使用のアプリケーションに対する逆方向の互換性は保証されていません。これは，COBOL の古いバージョンでコンパイルされたアプリケーションを，新しいバージョンの NCORTL と互換性を保って実行することはできますが，その逆はできない場合があるためです。

製品すべてのインストールを行う場合は，現在の COBOL.EXE のバージョンが，自動的にチェックされます。システム上に COBOL.EXE がインストールされていない場合は，次のメッセージが出力されインストールが終了します。

```
Compaq COBOL/Japanese V5.6 not updated
File SYS$SYSTEM:COBOL.EXE not found
```

システム上にすでにインストールされている COBOL.EXE のバージョンが，標準版 Compaq COBOL バージョン 5.6 のキットに含まれている COBOL.EXE のバージョンより古い場合は次のメッセージが出力されインストールが終了します。

```
Compaq COBOL/Japanese V5.6 not updated
Compaq COBOL/Japanese V5.6 update requires COBOL V5.6 or greater
```

ステップ 6

◆ LMF の問い合わせに答えます。

日本語 Compaq COBOL は，VMS のライセンス管理機能 (LMF) をサポートしています。LMF についての詳細は，『*VMS License Management Utility Manual*』を参照してください。

インストレーション中に，日本語 Compaq COBOL のプロダクト・オーソライゼーション・キー (PAK) が呼び出され，次の情報と質問が表示されます。

```
        Product:      COBOL-JAPAN
        Producer:     DEC
        Version:      5.6
        Release Date: dd-mmm-yyyy

* Does this product have an authorization key registered and loaded?[YES] Return
```

ここで，日本語 Compaq COBOL の LMF ライセンスが登録され，ロードされているかどうかを指定します。

インストレーションを開始する前に，日本語 Compaq COBOL の PAK をインストールしておいてください。

まだ PAK をインストールしていない場合はそのままインストレーションを継続し，インストールが完了した後で PAK をインストールすることができます。

次のリストは，この問い合わせに対する応答の結果をまとめたものです。

- PAK がインストールされている場合に YES と答えると，インストレーションは正常に進行する。
- PAK がインストールされておらず，IVP オプションを選択した場合に YES と答えると，IVP は失敗する。
- PAK がインストールされておらず，REFORMAT ユーティリティ・オプションを選択した場合に YES と答えると，インストレーションは失敗する。
- NO と答えると，インストレーションは終了する。

どのような場合でも，日本語 Compaq COBOL の PAK がインストールされていなければ，日本語 Compaq COBOL は実行できません。

ステップ 7

◆日本語 REFORMAT ユーティリティをインストールします。

```
* Do you want the Japanese REFORMAT Utility installed [YES]? Return
```

日本語 Compaq COBOL の使用に応じて，REFORMAT ユーティリティを任意にインストールすることもできます。

ステップ 8

◆日本語メッセージ・ファイルに関する問い合わせに答えます。

```
* Do you want to save the Japanese COBOL message file for modification[NO]?
Return
```

この問い合わせに YES と答えることによって，日本語 Compaq COBOL の日本語メッセージ・ファイル (JCO$ COBOLMSG.MSG) を編集し，カスタマイズすることができます。メッセージ・ファイルの編集を行う場合には，YES と入力してから Return キーを押します。編集が不要な場合には，Return キーを押してください。詳細については，第 3.2 節を参照してください。

ステップ 9

◆インストレーション検証プロシージャ (IVP) の実行を選択します。

```
* Do you want to run the IVP after installation [YES]? Return
```

インストレーション検証プロシージャ (IVP) は，インストレーションが成功したかどうかをチェックするためのテストを実行します。インストレーションの最後に IVP を実行する場合には，Return キーを押してください。不要な場合には，プロンプトに対して NO と入力します。

ステップ 10

◆ファイルのパージに関する問い合わせに答えます。

インストレーションが成功した場合，SYS$EXAMPLES，SYS$HELP，SYS$LIBRARY，SYS$MANAGER，SYS$UPDATE，SYS$MESSAGE および SYS$SYSTEM ディレクトリに，以下の日本語 Compaq COBOL ファイルが更新されます。

[SYSEXE]REFORMAT.EXE
[SYSLIB]NCORTL.EXE
[SYSTEST.COBOL]JCOBOL$IVP.COM

```
    [SYSHLP]JCOBOL056.RELEASE_NOTES
    [SYSHLP]JCOBOL056_RELEASE_NOTES.PS
    [SYSMSG]JCO$COBOLMSG.EXE
    [SYSUPD]JCO$COBOLMSG.MSG
    [SYSHLP.JA_JP]HELPLIB.HLB
    JSY$HELP:JSYHELP.HLB

* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]? Return
```

これらのファイルは，インストレーション中に新しいファイルと置き換えられます。しかし，古いファイルが自動的にパージされることはありません。古いファイルをパージすることをおすすめします (古いファイルをパージしても，保存する必要のあるリリース・ノートの初期バージョンが破壊されることはありません)。パージするときは，プロンプトに応じて Return キーを押します。古いファイルを保存するときは，NO と入力します。いずれの場合にも，システム・ヘルプ・ファイルが更新されます。

インストレーション・プロシージャは，次のファイルを更新します (この更新によって新しいバージョンが作成されたり，既存のファイルがパージされたりすることはありません)。

```
    [SYSLIB]IMAGELIB.OLB
    [SYSLIB]STARLET.OLB
```

これらのファイルをパージせずに保存しておくことにより，必要に応じて以前のバージョンのファイルに戻ることができます。

ファイルのパージに関する問い合わせは，インストレーション中に行われる最後の問い合わせです。この問い合わせに答えると，次のメッセージが表示されます。

```
  No more questions will be asked during this installation.
  It will take 10 minutes to install NCOBOL on VAX11/780 with MT.
```

日本語 Compaq COBOL をインストールするには，約 10 分かかります。

使用する媒体のタイプによっては，追加の提供ボリュームをマウントする必要があります。その場合， VMSINSTAL によって，準備ができたかどうかを尋ねるプロンプトが表示されます。

ステップ 11

◆情報メッセージが表示されます。

続いて，インストレーションの進行状態を示す情報メッセージが表示されます。

インストレーションが成功すると，次のメッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, files will now be moved to their target
directories...
```

インストレーションが正常に終了すると，新しいファイルまたは修正されたファイルが目的のディレクトリに移されます。

SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE ファイルが更新されます。更新されたファイルは，日本語 Compaq COBOL ヘルプ・テキストと日本語 Compaq COBOL コマンド行定義の新しいバージョンを含みます。

ステップ 12

◆インストレーション検証プロシージャが起動されます。

ステップ 9 で， IVP を実行するよう指定した場合には，ここで IVP が起動され，日本語 Compaq COBOL が正常にインストールされたかどうかが確認されます。

```
Start of Compaq COBOL Installation Verification Procedure

 Successful test of Compaq COBOL V5.6
 Installation of NCOBOL V5.6 completed at hh:mm
```

ステップ 13

◆インストレーション検証プロシージャが終了します。

```
   VMSINSTAL procedure done at hh:mm

$LOGOUT [Return]
SYSTEM     logged out at dd-mmm-yyyy hh:mm:ss.ss
```

以上で，日本語 Compaq COBOL のインストレーションが終了しました。他にインストールする製品がある場合は，これまでの手順を繰り返し行ってください。そうでない場合は，(上記の例に示すように) ログアウトします。インストレーションを開始する前にコンソール・ドライブからなんらかのメディアを除去した場合には，ここでそれを元に戻します。

VMSINSTAL は，インストレーション中に，プロセス・シンボル・テーブルのエントリを削除または変更します。したがって，この後も続けてシステム・マネージャのアカウントを使用し，削除または変更されたシンボルを復元する場合には，一度ログアウトしてからログインし直してください。

2.2.1 VAXcluster 環境での日本語 Compaq COBOL のインストール

OpenVMS システム管理ユーティリティ (SYSMAN) を使用して，クラスタの複数のノード上で容易に日本語 Compaq COBOL を実行することができます。VAXcluster の 1 つのノードで実行した操作が他のノードでも自動的に行なわれるように， SYSMAN を使用して，システム管理環境を定義することができます (詳細については，日本語 OpenVMS VAX ドキュメントの『*VMS* システム管理者マニュアル』を参照してください)。

最初に，適切なソフトウェア・ライセンスがあるかどうかをチェックしてください。いったん VAXcluster の 1 つのシステム・ディスク上に日本語 Compaq COBOL をインストールすれば，以下のステップを実行することによって，クラスタの他のノードにインストールされた DCL テーブルのバージョンを更新することができます。

1. VAXcluster の 1 つのノードにログインします。

2. はじめて日本語 Compaq COBOL を使用する場合には，日本語 Compaq COBOL をインストールする前に， PAK が登録されていることを確認してください。クラスタ環境のすべてのノードに同時に PAK をロードするには，SYSMAN を起動し， SYSMAN>プロンプトに対して，次のコマンドを入力します。

```
SYSMAN>LICENSE LOAD COBOL-JAPAN Return
```

3
インストレーションの後に

これで日本語 Compaq COBOL のインストレーションが全て終了したので，すべてのユーザは COBOL コマンドを使用して，日本語 Compaq COBOL を起動することができます。

インストレーションにより DCL コマンド・テーブルが変更され，さらに COBOL コマンドが認識および処理されるようになります。しかし，現在ログインしているユーザにとっては，まだ古いコマンド・テーブルが有効です。したがって，現在ログインしているユーザが日本語 Compaq COBOL の新しくインストールされたバージョンを使用する場合には，いったんシステムからログアウトしてログインし直すか，あるいは次のコマンドを実行しなければなりません。

```
$SET COMMAND/TABLE=SYS$LIBRARY:DCLTABLES Return
```

日本語 Compaq COBOL をシステムで広く利用する場合には， OpenVMS インストール・ユーティリティを使用して共有可能イメージとしてインストールすることにより，システム・オーバヘッドと必要なメモリ空間を削減することができます。この操作についての詳細は，第 3.4 節を参照してください。

3.1 インストレーション検証プロシージャの単独実行

インストレーション検証プロシージャ (IVP) は，通常インストレーション中に実行されますが，インストレーション後に単独で実行することもできます。システムに問題が発生したような場合，インストールしたファイルの整合性を確認するために IVP を単独で実行することがあります。このような場合，次のコマンド・プロシージャを実行します。

```
$@SYS$COMMON:[SYSTEST.COBOL]JCOBOL$IVP.COM Return
```

なんらかの原因で IVP が失敗した場合には，次のメッセージが表示されます。

```
The Compaq COBOL V5.6 Installation Verification Procedure failed.

%VMSINSTAL-E-IVPFAIL, The IVP for Compaq COBOL V5.6 has failed.
```

IVP の実行中または実行後にインストレーションが失敗した場合の処置
IVP の実行後になんらかの原因でインストレーションが失敗すると，次のようなエラー・メッセージが作成されることがあります。

```
%CLI-F-SYNTAX, error parsing ...

%COBOL-F-BADVALUE ...
```

これらのエラーは， SYS$LIBRARY:DCLTABLES の中の COBOL コマンドの構文と SYS$SYSTEM:COBOL.EXE との間に互換性がないことを示しています。このようなエラーの原因を理解し，それを修正するためには，以下の手順にしたがってください。

1. SYS$SPECIFIC に，ファイル SYS$SYSTEM:COBOL.EXE あるいはファイル SYS$LIBRARY:DCLTABLES のいずれかが存在する場合， SYS$SPECIFIC のファイルは SYS$COMMON(インストレーションにより，ここに上記のファイルが格納される) のファイルよりも優先されます。 SYS$SPECIFIC の中にこれらのファイルがどちらも存在しないことを確認してください。
2. COBOL または DCLTABLES の論理名の定義を取り消します。
3. 1 にも 2 にも当てはまらず，日本語 Compaq COBOL をインストールしたノード上の同じアカウントを使用している場合，このエラーは DCLTABLES が更新されなかったことを示します。このエラーは通常，インストレーション中に別のユーザが DCLTABLES をロックした場合に発生します。エラーを修正するには，日本語 Compaq COBOL をインストールし直さなければなりません。

また， IVP の実行後に上記とは別の原因でインストレーションが失敗し，RPC$SHARE エラー・メッセージが作成されることもあります。

これらのエラーは，日本語 Compaq COBOL が CDDSHR.EXE (CDD のバージョンが 5.0 以上の場合) を通じて間接的に RPC$SHARE をアクセスするために発生します。こうしたエラーは通常，日本語 CDD/Repository のインストレーションに問題があることを示します。これらのエラーを修正するには，次のコマンド・プロシージャを実行してください。

```
$@SYS$STARTUP:CDDSTRTUP.COM Return
```

上記のコマンド・プロシージャを実行した後で他のエラーを検出した場合には，日本語 CDD/Repository のドキュメントで詳細を調べるか，または，最寄りのカスタマ・サポート・センターにお問い合わせください。

3.2 日本語 Compaq COBOL エラー・メッセージの修正

日本語 Compaq COBOL の日本語メッセージ・ファイルを必要に応じて修正することを選択した場合，日本語 Compaq COBOL のメッセージ・ファイル JCO$COBOLMSG.MSG がシステム・ディレクトリ[SYSUPD]にコピーされます。システム・ディレクトリにファイルがコピーされた後， JCO$COBOLMSG.MSG を編集して，日本語 Compaq COBOL の使用中にユーザが受け取る日本語エラー・メッセージを必要に応じて修正することができます。

日本語メッセージ・ファイルを編集する前に，日本語 Compaq COBOL をインストールしなければなりません。 JCO$COBOLMSG.MSG を編集した後で日本語 Compaq COBOL をインストールした場合，このインストレーションによって，[SYSMSG]ディレクトリの中の修正した日本語メッセージ・ファイルが書き換えられてしまいます。また， JCO$COBOLMSG.MSG を編集する前に，システム上に OpenVMS メッセージ・ユーティリティをインストールしておかなければなりません。編集された JCO$COBOLMSG.MSG は，日本語 Compaq COBOL でアクセスする前にメッセージ・ユーティリティを通して処理する必要があります。

以下の手順は，日本語 Compaq COBOL の日本語メッセージを編集し，修正された日本語メッセージ・ファイルをシステムにインストールする方法を説明しています。

1. 日本語 Compaq COBOL インストレーション・プロシージャを実行し，‘‘Do you want to save the Japanese COBOL message file for modification.’’ という質問に対して YES と答えます。

   これにより，システム・ディレクトリ[SYSUPD]に日本語メッセージ・ファイル JCO$COBOLMSG.MSG がコピーされます。

2. メッセージ・ファイルを編集します。

   各エラー・メッセージは別々の行にわかれており，山括弧 (<>) で囲まれています。エラー・メッセージのテキスト部分を編集することはできますが，日本語 Compaq COBOL がエラーを正確に識別できるように，以下の部分は変更しないでください。

   - 最初のカラムに示される 3 ~ 9 文字の簡略記号
   - ファイル中のエラー・メッセージの順序
   - エラー・メッセージの重大度
   - メッセージ中の FAO (formatted ASCII ouput) 引数の数，タイプおよび順序

3. OpenVMS メッセージ・ユーティリティを実行します。

   新しい日本語メッセージ・テキストをファイルに変換するために，日本語 Compaq COBOL は，メッセージ・ユーティリティを通じてテキスト・ファイルにアクセスし，実行することができます。それには，次のコマンドを入力します。

   ```
   $MESSAGE JCO$COBOLMSG Return
   ```

   メッセージ・ユーティリティは，オブジェクト・モジュール JCO$COBOLMSG.OBJ を作成します。

4. /SHARE 修飾子を付けて LINK コマンドを入力し，共有可能イメージ JCO$COBOLMSG.EXE を作成します。

   ```
   $LINK/SHARE JCO$COBOLMSG Return
   ```

5. システム・ディレクトリ[SYSMSG]に JCO$COBOLMSG.EXE をインストールします。

```
$COPY JCO$COBOLMSG.EXE SYS$COMMON:[SYSMSG]/PROT=W:RE Return
```

6. 日本語 Compaq COBOL が既知イメージとしてインストールされている場合には，次のコマンドを入力することによって， JCO$COBOLMSG.EXE をインストールし直さなければなりません。

```
$INSTALL REPLACE SYS$MESSAGE:JCO$COBOLMSG Return
```

今後，日本語 Compaq COBOL は修正された日本語エラー・メッセージを生成するようになります。

3.3 エラー状態

なんらかの原因でインストレーション・プロシージャが異常終了した場合には，次のようなメッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-E-INSFAIL, The installation of Compaq COBOL V5.6 has failed.
```

インストレーションの途中でエラーが発生するのは，次のいずれかの原因によります。

- オペレーティング・システムのバージョンが適切なバージョンでない。
- 必須ソフトウェアのバージョンが適切なバージョンでない。
- インストレーションを終了するのに必要なクォータが不足している (第 1.3 節を参照)。
- VMSINSTAL に必要なプロセス・クォータが不足している (第 1.5 節を参照)。
- VMS ヘルプ・ライブラリが現在使用中である。
- 日本語 Compaq COBOL の PAK が正しく登録されていないか，または登録されていない。

これらの状態によって出力されるエラー・メッセージについての説明は，『*VMS System Messages and Recovery Procedures Reference Volume*』，『*VMS License Management Utility Manual*』，またはご使用のプロセッサのインストレーション / 操作ガイドを参照してください。

これらの状態に気づいた場合には，メッセージに従って適切な処理を実行してください。システム・パラメータを変更するか，または登録されているクォータ値を増加する必要があります。

インストレーションが異常終了した場合には，第 2 章のステップ 2 からもう一度やり直さなければなりません。 IVP の失敗のためにインストレーションが異常終了した場合には，まず第 3.1 節の「IVP の実行中または実行後にインストレーションが失敗した場合の処置」を調べてください。さらに援助を必要とする場合には，最寄りの日本 DEC のフィールド・サービスにお問い合わせください。

3.4 共有可能イメージとしての実行時ルーチン，日本語エラー・メッセージのインストール

日本語 Compaq COBOL をシステムで広く利用する場合には，共有可能イメージとして実行時ルーチン，日本語エラー・メッセージをインストールすることにより，システム・オーバヘッドと必要なメモリ空間を削減することができます。現在実行中のシステム上に共有可能イメージとしてこれらをインストールする場合には，必要な特権のあるアカウントにログインして，OpenVMS インストール・ユーティリティを使用します。エラーが発生した場合には，『*VMS System Messages and Recovery Procedures Reference Volume*』を調べてください。

最初に，システム上の利用できるグローバル・ページ数とグローバル・セクションの数を判断します。利用可能なグローバル・ページおよびグローバル・セクションの数を調べる方法については，第 1.3 節を参照してください。

次に，OpenVMS インストール・ユーティリティを起動して，共有可能イメージとして日本語 Compaq COBOL をインストールします。次のようにしてください。

```
$INSTALL Return

INSTALL>ADD SYS$LIBRARY:NCORTL.EXE/OPEN/SHARED Return
INSTALL>ADD SYS$MESSAGE:JCO$COBOLMSG.EXE/OPEN/SHARED Return
INSTALL>EXIT Return
```

次に，日本語 Compaq COBOL をインストールするために，システム・スタートアップ・ファイルを更新します。

システムをブートストラップするたびに，必ず日本語 Compaq COBOL が共有可能イメージとしてインストールされるようにするためには， SYS$MANAGER:SYSTARTUP_V5.COM(システム固有のスタートアップ・ファイル) に以下の行を追加してください。

```
$ INSTALL ADD SYS$LIBRARY:NCORTL.EXE/OPEN/SHARED
$ INSTALL ADD SYS$MESSAGE:JCO$COBOLMSG.EXE/OPEN/SHARED
```

3.5 COBRTL のみの特殊セーブ・セット

COBOL056.C セーブ・セットには， Compaq COBOL バージョン 5.6 から COBRTL056.A というセーブ・セットが含まれるようになりました。このセーブ・セットには， COBOL 実行時ライブラリ (COBRTL) のみをインストールするために必要なファイルが含まれています。ただし，このセーブ・セットはすべてのお客様に必要なものではありません。これは Compaq COBOL でアプリケーションを開発し，そのアプリケーションを他のお客様に提供する必要がある場合に，提供先システムの COBRTL とのバージョン不整合の問題があった場合に必要とされるものです。 COBRTL056.A セーブ・セットは，提供先システムに COBRTL をインストールするために，お客様の COBOL アプリケーションと合わせて提供することができます。 COBRTL056.A セーブ・セットに含まれる COBRTL.EXE は，メインのキットに含まれている COBRTL.EXE と同じものであることにご注意ください。

COBRTL056.A セーブ・セットを取り出すには，省略時のディレクトリにある媒体から COBOL056.C セーブ・セットをコピーし，次の操作を行ってください。

```
$BACKUP COBOL056.C/SAVE/SELECT=COBRTL056.A コピーしたいディレクトリ名Return
```

これで COBRTL056.A セーブ・セットをお客様の COBOL アプリケーションと共に提供することができます。アプリケーション提供先でのインストールは第 2.1 節ステップ 5 に記述されているとおりに， VMSINSTAL ユーティリティを使用して行うことができます。 COBRTL.EXE は正式にライセンスを取得している VMS システムにコピーすることが許されておりますので，ライセンスに関しては問題ありません。

3.6 保守更新

日本 DEC では，日本語 Compaq COBOL の保守更新を行います。各々の更新はインストレーション・キットからなります。本書または保守更新の際に提供されるドキュメントの記述にしたがって，日本語 Compaq COBOL のキットをインストールしてください。

バージョン番号は，保守更新のリリースごとに変更されます。たとえば，現在のバージョンが 1.0 であるとすると，最初の保守更新を行ったバージョンの番号は 1.1 になります。さらに，保守更新の際には新しいリリース・ノートが提供されます。このリリース・ノートでは，以前のリリースの後で日本語 Compaq COBOL に加えられた変更について説明しています。

更新されたリリース・ノートは，オンラインで提供されています。日本語 Compaq COBOL を最初にインストールする際には，必ずリリース・ノートをお読みください。リリース・ノートは，インストレーションの後で見ることもできます。日本語 Compaq COBOL をインストールする際にリリース・ノートを読む方法については，第 2 章のステップ 4 のインストレーション・プロシージャの説明にしたがってください。日本語 Compaq COBOL をインストールした後で，リリース・ノートを見たいときは，ファイル SYS$HELP:JCOBOL056.RELEASE_NOTES を表示またはプリントしてください。また， HELP でリリース・ノートの場所を調べることもできます。次のコマンドを入力してください。

```
$HELP COBOL RELEASE_NOTES Return
```

3.7 問題点の通知

本ソフトウェアについては，日本 Compaq 標準販売約款中のライセンス規定に定められた保証が提供されますので，その内容にしたがった処置をとってください。

なお，ご不明な点につきましては，日本 Compaq の各支店 / 営業所にお問い合わせください。

4

インストレーション例

この章では，日本語 Compaq COBOL のインストレーション例を示します。ただし，ここに示したものは 1 つの例にすぎません。インストレーション・プロシージャは，日本語 Compaq COBOL の保守更新の際に変更されることがあります。インストレーション・ガイドは，保守更新の際に必ずしも改訂されるわけではありませんので，日本語 Compaq COBOL をインストールする前に必ず，『日本語 Compaq COBOL Version 5.6 for OpenVMS VAX をご使用のお客様へ』をお読みください。このレターには，日本語 Compaq COBOL をインストールするにあたっての重要な変更点が記述されています。

標準版 Compaq COBOL 部分のインストレーション例

```
 $ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL COBOL056 ddn: OPTIONS N

        OpenVMS Software Product Installation Procedure V7.1

It is dd-mmm-yyyy at hh:mm.

Enter a question mark (?) at any time for help.

* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?
__ddn: allocated

Please mount the first volume of the set on ddn:.
* Are you ready? YES
%MOUNT-I-MOUNTED, COBOL1 mounted on _ddn:

The following products will be processed:

  COBOL V5.6

        Beginning installation of COBOL V5.6 at hh:mm
```

```
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...

Release Notes included with this kit are always copied to SYS$HELP.

Additional Release Notes Options:

    1.  Display release notes
    2.  Print release notes
    3.  Both 1 and 2
    4.  None of the above

* Select option [2]: 2

* Queue name [SYS$PRINT]:
Job COBOL056 (queue SYS$PRINT, entry 1248) started on SYS$LPA0
* Do you want to continue the installation [NO]?  YES
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, The product's release notes have been moved to SYS$HELP.

 +------------------------------------------------------------------------+
 |                    Installation Command Procedure for                  |
 |                  Compaq COBOL for OpenVMS VAX V5.6-60 Compiler.         |
 +------------------------------------------------------------------------+

  Digital Equipment Corporation 1990, 1999. All rights reserved.

 Restricted Rights: Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is
 subject to the restrictions as set forth in subparagraph (c) (1) (ii) of
 DFARS 252.227-7013, or in FAR 52.227-19, or in FAR 52.227 -14 Alt. III, as
 applicable.

 This software is proprietary to and embodies the confidential technology of
 Digital Equipment Corporation.  Possession, use, or copying of this software
 and media is authorized only pursuant to a valid written license from Digital
 or an authorized sublicensor.

* Do you want to install only the COBRTL [NO]?

        Product:      COBOL
        Producer:     DEC
        Version:      5.6
        Release Date: dd-mmm-yyyy


* Does this product have an authorization key registered and loaded? YES

        The ANSI/Terminal-Format REFORMAT Utility may optionally be installed.

* Do you want the REFORMAT Utility installed  [YES]?
* Do you want to save the COBOL message file for modification  [NO]?
```

```
 This installation procedure creates a new version of, or updates
 some or all of the following files:

       [SYSEXE]COBOL.EXE
       [SYSEXE]REFORMAT.EXE
       [SYSLIB]DCLTABLES.EXE
       [SYSTEST.COBOL]COBOL$IVP.COM
       [SYSHLP]COBOL056.RELEASE_NOTES          ! Note version for each new kit
       [SYSHLP]COBOL056_RELEASE_NOTES.PS       ! Note version for each new kit
       [SYSMSG]COBOLMSG.EXE
       [SYSUPD]COBOLMSG.MSG

* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]?

  The installation procedure may also create a new version of the
  following file, which is not purged along with the previously
  listed files:

       [SYSLIB]COBRTL.EXE

  This installation procedure additionally may update the following files
  (it will not create new versions of them, nor will it purge them):

       [SYSLIB]IMAGELIB.OLB
       [SYSLIB]STARLET.OLB


  No more questions will be asked during this installation.

  Installing Compaq COBOL for OpenVMS VAX and running the IVP requires approximately
  5 to 10 minutes, depending on your system configuration.

%COBOL-I-UPDIMG, Installing new COBRTL image
%PATCH-I-NOLCL, image does not contain local symbols
%PATCH-I-WRTFIL, updating image file VMI$ROOT:[SYSUPD.COBOL056]COBRTL.EXE;2
%COBOL-I-UPDOBJ, Updating system object library
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set B ...
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory VMI$ROOT:[SYSTEST.COBOL].

       The IVP has been moved to directory [SYSTEST.COBOL]

       To invoke the IVP, enter @SYS$COMMON:[SYSTEST.COBOL]COBOL$IVP.COM
```

```
Please mount the next distribution volume on ddn:
* Are you ready? YES
%MOUNT-I-MOUNTED, COBOL2 mounted on _ddn:
%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set C ...
%BACKUP-I-READYREAD, mount volume 2 on _ddn: for reading
Enter "YES" when ready: YES
%BACKUP-I-READYREAD, mount volume 3 on _ddn: for reading
Enter "YES" when ready: YES

%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...

        Start of Compaq COBOL for OpenVMS VAX Installation Verification Procedure

        Successful test of Compaq COBOL for OpenVMS VAX V5.6-60
        Installation of COBOL V5.6 completed at hh:mm

Please mount the console volume on ddn:.
* Are you ready? YES
%MOUNT-I-MOUNTED, CONSOLE mounted on _ddn:

Enter the products to be processed from the next distribution volume set.
* Products: EXIT
        VMSINSTAL procedure done at hh:mm

 $ LOGOUT
  SYSTEM       logged out at dd-mmm-yyyy hh:mm:ss.cc
```

日本語 Compaq COBOL 部分のインストレーション例

```
 $ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL NCOBOL056 ddn: OPTIONS N

        OpenVMS Software Product Installation Procedure V7.1

It is dd-mmm-yyyy at hh:mm.

Enter a question mark (?) at any time for help.

* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?
__ddn: allocated

Please mount the first volume of the set on ddn:
* Are you ready? Yes
%MOUNT-I-MOUNTED, Ncobol mounted on _ddn:

The following products will be processed:

  NCOBOL V5.6

        Beginning installation of NCOBOL V5.6 at hh:mm

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...

Release notes included with this kit are always copied to SYS$HELP.

Additional Release Notes Options:

        1.  Display release notes
        2.  Print release notes
        3.  Both 1 and 2
        4.  None of the above

* Select option [2]:

* Queue name [SYS$PRINT]:
Job NCOBOL056 (queue SYS$PRINT, entry 1249) started on SYS$LPA0

* Do you want to continue the installation [NO]? YES

%VMSINSTAL-I-RELMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.

 +-----------------------------------------------------------------------------+
 |                     Installation Command Procedure for                      |
 |                      Compaq COBOL/Japanese V5.6-60.                         |
 +-----------------------------------------------------------------------------+
```

```
       Digital Equipment Corporation 1994, 1999. All rights reserved.

 This software is proprietary to and embodies the confidential technology of
 Digital Equipment Corporation.  Possession, use, or copying of this software
 and media is authorized only pursuant to a valid written license from Digital
 or an authorized sublicensor.

* Do you want to install only the NCORTL [NO]?

* Do you only want to modify Japanese LSE environment [NO]?

       Product:      COBOL-JAPAN
       Producer:     DEC
       Version:      5.6
       Release Date: dd-mmm-yyyy

* Does this product have an authorization key registered and loaded? YES

       The Japanese ANSI/Terminal-Format REFORMAT Utility may optionally
       be installed.

* Do you want the Japanese REFORMAT Utility installed  [YES]?
* Do you want to save the Japanese COBOL message file for modification  [NO]?
* Do you want to run the IVP after the installation [YES]?

 This installation procedure creates a new version of, or updates
 some or all of the following files:

       [SYSEXE]REFORMAT.EXE
       [SYSTEST.COBOL]JCOBOL$IVP.COM
       [SYSHLP]JCOBOL056.RELEASE_NOTES
       [SYSHLP]JCOBOL056_RELEASE_NOTES.PS
       [SYSMSG]JCO$COBOLMSG.EXE
       [SYSUPD]JCO$COBOLMSG.MSG

* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]?

  This installation procedure additionally creates a new version of,
  or updates the following files which will not be purged.

       [SYSLIB]NCORTL.EXE
       [SYSLIB]IMAGELIB.OLB
       [SYSLIB]STARLET.OLB
       [SYSHLP]HELPLIB.HLB
       [SYSHLP.JA_JP]HELPLIB.HLB
       JSY$HELP:JSYHELP.HLB

  No more questions will be asked during this installation.
```

```
  It will take 10 minutes to install NCOBOL on VAX11/780 with MT.

%NCOBOL-I-UPDIMG, Installing new NCORTL Image
%PATCH-I-WRTFIL, updating image file DKB100:[SYS0.SYSUPD.NCOBOL056]NCORTL.EXE;2
%NCOBOL-I-UPDOBJ, Updating System Object Library

        The IVP for Compaq COBOL/Japanese has been moved to directory
        [SYSTEST.COBOL]

        To invoke the IVP, enter @SYS$COMMON:[SYSTEST.COBOL]JCOBOL$IVP.COM

%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...

        Start of Compaq COBOL/Japanese Installation Verification Procedure

        Successful test of Compaq COBOL/Japanese V5.6-60
        Installation of NCOBOL V5.6 completed at hh:mm

        VMSINSTAL procedure done at hh:mm

 $ LOGOUT
  SYSTEM       logged out at dd-mmm-yyyy hh:mm:ss.cc
```

A

日本語 Compaq COBOL バージョン 5.6 のインストールで追加，更新されるファイル

日本語 Compaq COBOL バージョン 5.6 のインストールにより，以下のファイルが追加，更新されます。

- [SYSEXE]COBOL.EXE
  コンパイラ実行イメージ
- [SYSEXE]REFORMAT.EXE
  ANSI フォーマットおよびターミナル・フォーマット変換ツール
- [SYSLIB]NCORTL.EXE
  日本語データの端末入力用実行時ルーチン
- [SYSLIB]COBRTL.EXE
  COBOL 実行時ルーチン
- [SYSTEST.COBOL]JCOBOL$IVP.COM
  [SYSTEST.COBOL]COBOL$IVP.COM
  検証プロシージャ
- [SYSHLP]JCOBOL056.RELEASE_NOTES
  [SYSHLP]JCOBOL056_RELEASE_NOTES.PS
  [SYSHLP]COBOL056.RELEASE_NOTES
  [SYSHLP]COBOL056_RELEASE_NOTES.PS
  リリース・ノート
- [SYSMSG]JCO$COBOLMSG.EXE
  [SYSMSG]COBOLMSG.EXE
  コンパイル時のエラー・メッセージ

- [SYSUPD]JCO$COBOLMSG.MSG
  [SYSUPD]COBOLMSG.MSG
  エラー・メッセージファイル
- [SYSHLP.JA_JP]HELPLIB.HLB
- JSY$HELP:JSYHELP.HLB
  日本語 DCL ヘルプ・ファイル

日本語 Compaq COBOL バージョン 5.6 のインストールにより，以下にあげるファイルが更新されます。

- [SYSLIB]IMAGELIB.OLB
- [SYSLIB]STARLET.OLB
- [SYSLIB]DCLTABLES.EXE
- [SYSLIB]LSE$SYSTEM_ENVIRONMENT.ENV

日本語 Compaq COBOL for OpenVMS VAX
インストレーション・ガイド

1999　発行

コンパックコンピュータ株式会社

〒 140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

電話　(03)5463-6600 (大代表)

AA-PPPLF-TE